

佐鳴湖の環境改善 地域協議会

会長に文化芸大・礒村教授

佐鳴湖の環境改善を目的とした地域協議会が14日、浜松市中央区の県浜松総合庁舎であり、静岡文化芸術大の礒村克郎教授（公共デザイン）を会長に選任した。3月末に退任する同大の下澤嶽名誉教授の後任。2024年度までの佐鳴湖水環境向上行動計画（第二期）に基づく事業の実施を2年延長することも決めた。

新年度から会長を務める礒村教授は、佐鳴湖の環境改善に向け「上流、下流、浜名湖も含め、いろんな視

点でアプローチするのが良い。市民共同も含めた公共デザインという視点でお手伝いできれば」と抱負を語った。浄化対策専門委のとりまとめでは、汚れの度合いを示す水質指標は目標達成の見込みだが、水の透明度については目標に届かない可能性がある。水環境のさらなる向上を検討するために調査期間が必要として事業の延長を決定。地域の二一ズや湖内や流域の底質調査、浄化対策の効果の検証などを進める。（村松秀規）



新年度から会長に就任する静岡文化芸術大の礒村克郎教授＝浜松市中央区の県浜松総合庁舎で